



1_「声援を受けて…」※長崎県高等学校総合文化祭第17回写真展最優秀作品/
2_加藤さん作「東京駅」/ 3_加藤さん作「水面に映る街並み」/ 4_撮影風景

「このレンズ、60年前のもので、味のある写真が撮れるんです」と語るのは、昨年度の長崎県高等学校総合文化祭第17回写真展で最優秀賞を受賞した、猶興館高等学校3年の加藤凜久さん。高校入学当初は美術部に入学していましたが、顧問の植野先生に写真報道部に誘われ、初めてカメラを使い始めました。部活では、文化祭や球技大会などの学校行事で撮影した写真を校内に掲示するほか、年に2回、「猶興新聞」を発行しています。全国総合文化祭出場という華々しい成績を残した加藤さんも、最初は渋々カメラを構えていました。しかし撮影した写真に感動する人たちの反応に、写真の「日常の一瞬を切り取り、追体験させる」という魅力を実感し、どんどん引き込まれていきました。写真に魅了された加藤さんが取り組んでいるのは、撮影だけではありません。大学の工学部に進学を考えている加藤さんは、故障したレンズを分解し修理したり、革を加工してオリジナルのカメラケースを製作するなど、勉強の合間に機材の研究にも取り組んでいます。将来は製造業に携わりつつ、趣味でカメラを続けていきたいと語る加藤さん。写真展で作品を見ることができるよう日も近いかもしれません。

平戸の新星 第1回

日常の光り輝く瞬間をしかと見極めシャッターを切る

「このレンズ、60年前のもので、味のある写真が撮れるんです」と語るのは、昨年度の長崎県高等学校総合文化祭第17回写真展で最優秀賞を受賞した、猶興館高等学校3年の加藤凜久さん。高校入学当初は美術部に入学していましたが、顧問の植野先生に写真報道部に誘われ、初めてカメラを使い始めました。部活では、文化祭や球技大会などの学校行事で撮影した写真を校内に掲示するほか、年に2回、「猶興新聞」を発行しています。全国総合文化祭出場という華々しい成績を残した加藤さんも、最初は渋々カメラを構えていました。しかし撮影した写真に感動する人たちの反応に、写真の「日常の一瞬を切り取り、追体験させる」という魅力を実感し、どんどん引き込まれていきました。写真に魅了された加藤さんが取り組んでいるのは、撮影だけではありません。大学の工学部に進学を考えている加藤さんは、故障したレンズを分解し修理したり、革を加工してオリジナルのカメラケースを製作するなど、勉強の合間に機材の研究にも取り組んでいます。将来は製造業に携わりつつ、趣味でカメラを続けていきたいと語る加藤さん。写真展で作品を見ることができるよう日も近いかもしれません。



猶興館高校
3年
加藤 凜久 さん
(下中津良町)

もともと美術部に入学していた加藤さんは、普段よく絵を描くそうですが、今は受験勉強一筋だそうです。

「写真で人生を豊かに」

顧問・植野先生

加藤君の転機となったのは、受賞した体育祭の写真だと思います。これほど躍動感と一体感のある1枚を撮るのは難しいものです。

将来製造業に就職しても、趣味のカメラを続けて、人生を豊かにして欲しいです。

平戸の未来を考える

☎ 学校教育課指導班 ☎22-9212



南部中学校 納屋 裕一朗さん(左) 徳山 真圓さん(右)
田平中学校 佐々木 香澄さん(左) 森下 仁菜さん(右)

平戸市未来創造館で「ふるさとHIRADOの発展のためにみんなで考えよう！動き出そう！」をテーマに「令和4年度ふるさとプロジェクト会議」が行われました。市内の各中学校から代表2人が参加し、松田副市長や松永教育長らに中学生ならではの視点で提案しました。

会議では、南部中学校が平戸の魅力発信のためインスタ映えしそうなスポットや釣りの名所などをまとめたパンフレット制作を、田平中学校が特産品を活かした新商品のアイデアを募集するコンテストについて提案しました。提案に対し、他の中学校からは「パンフレットを置く場所はどうするのか」「募集した新商品は、誰がどうやって選ぶのか」というような意見が出され、活発な議論が展開されました。

人口の動き

()は、前月との比較
令和4年8月1日現在

■総人口	29,416人(-46人)	■平戸地区	16,963人(-17人)
■男性	13,938人(-26人)	北部地区	10,066人(-13人)
■女性	15,478人(-20人)	中部地区	3,305人(-3人)
■世帯数	13,784戸(-25戸)	南部地区	3,592人(-1人)
☎市民課戸籍住民班 ☎22-9123		■生月地区	4,832人(-23人)
		■田平地区	6,658人(-7人)
		■大島地区	963人(+1人)

交通事故件数

令和4年7月末現在

■件数	24件(23件)
■死者	1人(0人)
■負傷者	32人(26人)

※()内は昨年同期

☎総務課危機管理班 ☎22-9101

火災救急件数

令和4年7月末現在

■火災	24件(16件)
■救急	1,014件(917件)

※()内は昨年同期

☎消防本部予防課 ☎22-3167

P 2	目次・平戸の未来を考える・人口の動き・交通事故件数・火災救急件数
P 3	平戸の新星
P 4~7	特集 たっしやが一番
P 8~9	各種表彰者
P 10~13	スマートフォン教室
P 14~15	地球温暖化対策
P 16	そうだ図書館へ行こう
P 17	まちづくり協議会紹介・「古写真」から見る平戸の記憶遺産
P 18	高齢者通いの場
P 19	消費生活センター・国際交流員の日記
P 20~21	子育て・健康応援コーナー
P 22~26	見逃せない情報がココに(お知らせ)
P 27	暮らしに役立つ情報がここにも(お知らせ)
P 28~29	まちのできごと
P 30	うぶ声&おくやみ・TownTopic
P 31	ハッピーバースデー
P 32	カレンダー